

林業福島

No. 561

題字 福島県知事 佐藤雄平



Fight!
Fukushima! **がんばろう
ふくしま!**

5

2011

かんじゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■復旧に励む



復興へ向け全力で取り組むふくしま

県民の皆さんへ

福島県知事
佐藤 雄平

大震災から二か月余りとなりましたが、原子力災害は、未だに予断を許さない状況が続いております。県民の皆さんには、大変な御苦労、そしてまた、御心労をおかけいたしております。

福島県といたしましては、原子力発電所の事態が、事業者の示した工程表どおり収束するよう、国、事業者の取組状況をしっかりと確認するとともに、今後とも、日々変化する局面に迅速・的確に対応してまいります。

この間、全国の皆さんには、医療活動、被災地の復旧活動、避難所運営等の支援、義援金や物資等の提供、さらには福島県産農産物の応援など、幅広い分野で心温まる御支援をいただき、この場をお借りいたしまして、お礼を申し上げます。

また、国の機関、そして全国の自治体からも災害の救助、避難者の受入れ、専門職員の派遣など多大な御支援をいただいております。厚くお礼を申し上げます。

おかげさまで、県民も少しずつ元気を取り戻し、経済活動でも農産物の出荷制限が解除され、また、企業の操業再開など、明るい話題が増えてまいりました。

避難されている方々の住居、働く場の確保、原子力災害による賠償問題、計画的避難区域からの避難など、大きな課題はありますが、ふくしまはしっかりと前を向いて歩んでおります。今後とも御支援をお願いしたいと思います。

五月一日には、天皇后陛下に本県の避難所等を御訪問いただき、被災された県民一人一人に温かいお見舞いのお言葉をかけていただき、両陛下のお心遣いに県民一同大いに励まされたところであります。

さらに、本県の復興ビジョン策定に向けた検討委員会を開催いたします。有識者の御助言をいただきながら、県民の皆さんの声を十分お聞きし、地域が主体となったふくしま再生の青写真を描いてまいります。

県民の皆さん、私たちが心を一つにして力を結集すれば、ふくしまは必ず元気を取り戻すことができると確信しております。
県は、復興に向け全力で取り組んでまいります。

《も く じ》

とびら	普及指導員通信……………6
県民の皆さんへ	林業研究センターだより……………7～8
福島県知事 佐藤 雄平……………1	木材市況・ふくしま東西南北……………9
東日本大震災	みどりの少年団コーナー……………10
被災状況と復旧に向けて②……………2～4	森連だより……………11
原子力損害賠償について	福島水源林整備事務所だより……………12
県労働力確保センターからのお知らせ……………5	はなしのひろば……………13

東日本大震災

被災状況と復旧に向けて②

1 被害状況

三月一日に発生した東日本大震災の被害発生箇所と金額については、調査が進むにつれ増加しております。

今回は、四月二十七日に発表された被害状況について報告します。

表の「東日本大震災地震による農林水産部公共施設等被害について」（原子力災害を除く）（第2報）に示すとおり、農林水産部でとりまとめた被害額の合計は、二、七五三億六、〇〇〇万円となっており、うち農地被害が二、三〇二億五、八〇〇万円の約八四割を占めております。

また、今回まとめられた特徴としては、調査が進むことにより、新たに農業等被害と水産業被害が加わっております。

次に、森林林業に係る部分の林業等被害と、治山被害についてその内容をお知らせします。

(1) 林業等被害

森林等被害は、七三五箇所二三

東日本大震災による農林水産部公共施設等被害について（原子力災害を除く）（第2報）

平成23年4月27日 福島県農林水産部

平成23年4月27日現在で判明した農林水産業関係被害については、以下のとおりです。

区分	箇所数等	被害額（千円）	備考
農業等被害	300件	2,110,000	
農作物	101件	805,000	
農業関係施設	199件	1,305,000	
水産被害		26,377,000	
水産関連施設	1,341か所	19,068,000	
養殖水産物等	2,232トン	670,000	
漁船	873隻	6,639,000	
農地等被害	4,358か所	230,258,000	
農地	1,283か所	93,507,000	A = 5,991ha
水路	1,133か所	27,491,000	
道	894か所	2,966,000	
ため池	745か所	23,611,000	ダムを含む
頭首工	59か所	3,125,000	
揚水機	113か所	28,624,000	
橋梁	4か所	84,000	
湖岸堤防	2か所	3,000,000	
農業集落排水施設等	105か所	22,431,000	
海岸保全施設	20か所	25,419,000	
林業等被害	735か所	2,362,000	
森林	11か所	265,000	
林産物等	39か所	146,000	
林産施設等	52か所	1,162,000	
林道	633か所	789,000	
治山被害	113か所	14,253,000	
林地	103か所	10,681,000	
治山施設	10か所	3,572,000	
合計		275,360,000	

※航空写真等を活用して把握した被害も含む。
 ※今後の調査により、被災箇所数及び被害額の変更がある。

億六、二〇〇万円となっております。主な内容は、以下のとおりです。

ア 森林被害 一一箇所
 二億六、五〇〇万円

海岸線の津波による被害が南

相馬市ほか九市町村一三九軒で発生しました。

イ 林産物等被害 三九箇所
 一億四、六〇〇万円

南相馬市の苗木、いわき市ほかの木製品被害、県南地方を中心とするしいたけ菌床の落下等の被害が発生しました。

ウ 林産施設等被害 五二箇所
 一一億六、二〇〇万円

南相馬市の苗畑、県中・相双・いわき地方の木材加工施設、県

中・県南・いわき地方のきのこ生産施設、県の林業研究センター、県中の集落排水施設、森林公園の駐車場など全域にわたり発生しております。

エ 林道施設 六三三箇所
 七億八、九〇〇万円

四月一日にいわき地方で発生した震度六弱の地震後に確認されたいわき地方の四〇路線、八四箇所や相双地方の調査が進み被害が増加しております。

(2) 治山被害

治山被害は、林地被害と施設被害を合わせて一・一三箇所一四二億五、三〇〇万円となっております。

ア 林地被害 一〇三箇所
一〇六億八、一〇〇万円

県南地方を中心とした中通り全域で数多く発生しております。特に浜通り地方の海岸保安林については、五八割が流失しております。

イ 治山施設 一〇箇所
三五億七、五〇〇万円

相馬市大洲地区の海岸護岸の被災や、いわき市下長沢の波消しブロックの流失、県南地方の山腹工施行箇所の施設被害が報告されています。

被害に関しましては、原発事故の影響範囲や、会津地方の積雪地帯の把握が進むことによりさらに増加する見込みです。

2 災害復旧対応（森林土木施設の災害査定）

森林土木施設の林道施設、治山施設に関しては、災害復旧事業のための災害査定の日程が決まりました。これまで行われてきた応急工事に加え、本格的な復旧に向けた取組みが動き出します。

(1) 査定日程

林野庁及び財務省東北財務局と協議し、第一次から第三次までの災害査定の日程を次のとおり決定しました。第一次査定は、浜通りの津波被害箇所二箇所を含む治山施設、第二次・三次は林道施設の査定が対象となっております。（表―A）

(2) 査定内容について

(表―A)

査定名	査定日程
第1次査定	6月6日（月）～6月8日（水）まで
第2次査定	6月27日（月）～7月1日（金）まで
第3次査定	7月11日（月）～7月15日（金）まで
第4次査定以降	関係機関と日程を調整次第、順次施行予定

(表―B)

	(単位：件数)				
	計	第1次	第2次	第3次	第4次以降
県施工分	約14	4	0	0	約10
市町村施工分	約100	0	約20	約30	約50
計	約114	4	約20	約30	約60

林道 江尻横川線の被災状況といわき市による応急復旧状況



路側決壊状況



路側沈下状況



復旧状況

余震による治山の被害発生状況（いわき市）



綱木地区



川部町

査定により治山・林道の各施設に関する被害を確認し、事業費の決定を行います。

以下に査定の日程を決定し示します。（表―B）

第四次以降の災害査定件数に関しては、関係機関と日程調整等を行います。早期復旧を目指します。

(3) 災害復旧対応（林地災害の治山対応）

林地の崩壊等については、県実地の災害関連緊急治山事業や市町村実施（国県八割補助）の林地崩壊対策事業等で積極的に復旧すべく、国と調整中です。

また、海岸防災林については、保全対象となる農地、道路の復興や新たな街づくり等と調整を図りながら復旧していくことといたします。

林産物の被害と対応

林業振興課

大震災による林産施設及び特用林産施設の被害額は、四月二二日現在六億六、〇〇〇万円、製材工場や木材市場の被災は二四箇所、きのこ栽培施設の被災は三六箇所となっております。

また、原発の影響による風評被害では、製材品の取引停止やしいたけ原木のキャンセル、オガコの取引停止など一九件の被害報告がありました。

本課では、被災施設の復旧に向けた各種事業・制度資金の要望や放射線に対する木材・木製品の安全基準値の設定をするよう国に対して求めているところです。

また、きのこや山菜等の放射線に関するモニタリング検査を実施するとともに、生産者や採取者に情報を提供しているところです。本課の取り組みの一部を紹介します。

1 制度資金のご案内

林業者や木材業者への被災施設の復旧を目的とした設備投資には「林業・木材産業改善資金」、つなぎ資金には、短期の運転資金である「木材産業等高度化推進資金」などの制

度資金があります。本課または最寄りの農林事務所森林林業部にお問い合わせください。

(1) 林業・木材産業改善資金

本資金は、林業・木材業者への設備投資に係る無利子融資制度であり、償還期間一〇年（据置期間三年以内）、限度額は個人…一、五〇〇万円、会社…三、〇〇〇万円です。

(2) 木材産業等高度化推進資金

本資金は林業・木材業者への運転資金を融資する制度であり、貸付利率一・三割、償還期間一年以内、無担保で貸付限度額は条件により一、〇〇〇万円～一億円です。なお、国の一次補正である東日本大震災復旧緊急保証の活用により、貸付日から一年間、保証料は無料となります。

2 きもの・山菜等のモニタリング検査

原子力災害対策特別措置法に基づく緊急時モニタリング検査をきのこや山菜の発生時期に合わせて実施しています。採取は各農林事務所の林業普及指導員が採取手順により採取し、福島県農業総合センターに集荷

後、千葉県にある(財)日本分析センターにおいて放射線の量を測定して国の発表後に県で公表しています。食品衛生法に基づく放射線の基準値は、野菜類の基準に基づき「ヨウ素」は二、〇〇〇ベクレル/キログラム、「セシウム」は五〇〇ベクレル/キログラムとなっております。

平成二三年五月二三日現在の県内で採取されたきのこや山菜で基準値を超えた品目は別表のとおりですが、出荷制限等については、市町村の指定や解除がありますので、地方紙の朝刊、県や厚生労働省のホームページ等最新の情報を確認してください。

放射線の基準値を超えたきのこや山菜

5月23日現在

品目	該当市町村	制限内容
くさそてつ (こごみ)	福島市、桑折町	出荷
たけのこ	いわき市、相馬市、伊達市、天栄村、平田村、三春町、南相馬市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、西郷村	出荷
原木しいたけ (露地)	飯舘村	摂取出荷
	福島市、伊達市、本宮市、相馬市、南相馬市、田村市（福島第一原子力発電所から半径20km圏内の区域に限る）、川俣町、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楡葉町、広野町、葛尾村、川内村（福島第一原子力発電所から半径20km圏内の区域に限る）	出荷



しいたけ



たけのこ



くさそてつ (こごみ)

原子力損害賠償について

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、浜通りを中心とした県内の皆様は、大きな被害を被り毎日の生活にも大変なご苦労をなさっていることと思います。心からお見舞い申し上げます。

さて、これから大きな問題となるのは、原子力による損害賠償の問題ではないかと、当面の損害賠償に関する対応についてお知らせいたします。

「原子力損害の賠償に関する法律」は、原子炉の運転等により原子力損害が生じた場合における損害賠償に関する基本的制度を定め、被害者の保護を図り、原子力事業の健全な発達に資することを目的とするとされております。

農林水産省内に「東京電力原子力発電所事故に係る連絡会議」を、また、県では「原子力損害に関する関係団体連絡会議」を設け、文部科学省に設置され、原子力事業者（東京電力）との交渉の基礎となる判定指針をつくる「原子力損害賠償紛争審査会」に要望等をしているところで

さて、苗木生産者、造園業者、木材業者、素材生産業者等の皆さんが現時点で損害賠償で認められているのは、

- ① 避難費用
避難に伴う交通費、宿泊費
 - ② 営業損害
営業、取引等の減収分、商品廃棄費用、拠点の移転費等の追加的費用
 - ③ 就労不能等に伴う損害
就労不能の場合の給与等の減収
 - ④ 財物価格の喪失又は減少等
検査費用
 - ⑤ 放射線被ばくの検査費用、商品の汚染検査費用
 - ⑥ 生命・身体的損害
避難等によって生じた健康状態悪化等による治療費等
- の六項目であり、「審査会」の一次指針で示されており、それ以外のものについても、今後検討され、順次指針として示されることとなっております。なお、詳細については次号でお知らせします。

（渡辺 卓治）

林業事業体の皆様へ

「緑の雇用」が、段階的で体系的な人材育成対策として生まれ変わります！

「緑の雇用」現場技能者育成対策事業

現場技能者を段階的かつ体系的に育成する林業事業体を支援します。

作業実態等を理解するためのトライアル雇用や基本的な知識・技能等を習得するためのOJTを含む3年間の研修、作業班長等に必要知識技能を習得するためのキャリアアップ研修に必要な経費（研修生当たり月額9万円）を助成します。

事業内容の主な変更点

- これまでのトライアル雇用とOJTを含む3年間の研修助成に加え、作業班長等のキャリアアップ研修参加への助成を新たに実施します。
- OJT研修は、請負作業他でも実施可能な実践研修を中心とし、1～3年目で助成方法を統一化します。
- 技能講習を含め、必要な知識・技能を体系的に習得できるよう集合研修を拡充します。

認定事業主以外で「緑の雇用」の活用をお考えの方は、認定の取得を当支援センターにご相談下さい。

電話：024-521-3245

助成要件の主な変更点

- 林道労働力確保法に基づく改善計画の認定事業主に限定されます。
- 研修の指導員は、指導員能力向上研修（各都道府県で5日間程度）への参加が義務付けられます。

県労働力確保支援センターからのお知らせ

～いつもと変わらない南会津。～

■南会津農林事務所

林業普及指導員 柳田 範久

南会津は、いつもの春と同じように、桜の花が咲き、山は新緑で萌黄色に染まり、田植えの準備をすませた水田には水が張られ、青い空を映しています。

春の訪れを知らせる山からの恵み、山菜の季節を迎え、観光地の直売所等も賑わう季節です。しかし、今年は、震災及び原子力事故の影響を受け、観光客もまばら。

南会津の農産物への放射性物質の影響は非常に少ないのですが、福島県への風評被害は、ここ南会津にも影響を及ぼしています。

山菜類は、南会津地方の特産林産物として農山村の重要な収入源になっており、特産林産物の振興は普及課題としても取り上げ、普及推進に努めているところです。その中で、この被害は地域にとって大きなダメージです。

現在、生産者や販売者の不安や戸惑いに対して、モニタリング検査の実施や生産者及び直売所の巡回指導による情報提供を行うことにより、当地域における山菜類の安全性確保に努めています。

なお、南会津では、東日本大震災に伴うさまざまな影響を払拭し、いつもと変わらない南会津地方の日常を回復するため、「いつもと変わらない 南会津。」キャンペーンを展開し、より深く福島県並びに南会津を知ってもらう取り組みを行っています。

直接被災した地域の元気を取り戻すためにも、南会津からの活動により共にならばっていきたいと思います。



ぜんまい



「いろいろとご心配されているかもしれませんが、南会津はいつもと変わらない春を迎えています。」

林業研究センターだより 最近の林業研究センターの 試験研究



つばきの開花

県林業研究センター企画情報部

最近の林業研究センターの試験研究として、平成二二年度に終了した課題と、平成二三年度から新たに始まる課題について紹介します。

平成二二年度終了課題

平成二二年度は一八課題のうち三課題が終了しました。終了課題の成果概要について紹介します。

(一) スギ雄性不稔個体の育成と早期育成法の開発

本課題では社会問題となっているスギ花粉症について、林業面からの花粉症対策について検討しました。その結果、「スギ花粉症対策苗の作出」と「菌類による花粉飛散抑制技

術」について、普及に移しうる成果として報告されました。

① スギ花粉症対策苗の作出

県内造林地から発見された雄性不

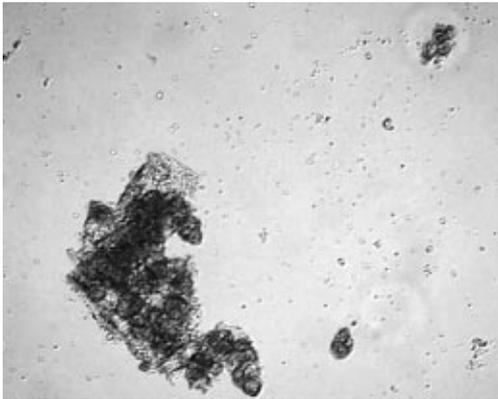


写真1 雄性不稔の花粉

稔スギ（無花粉スギ）や精英樹を育種母材に林業用のスギ雄性不稔苗を作出しました。本県で発見された「福島不稔一号」などと本県精英樹との交配を繰り返し、新たに無花粉スギを選抜しました。これにより、造林用雄性不稔スギの選抜対象となる造林用雄性不稔スギの苗木を得ることができました。（写真一）

② 菌類による花粉飛散抑制技術

花粉飛散前のスギ雄花にスギ黒点病を感染させ、スギ雄花を枯死に至らせることに成功しました。スギ黒点病菌をスギ苗に一月に散布したところ、九割以上の雄花を枯死させることができました。これにより、既存スギ林における花粉飛散抑制技術の実用化に一步近づきました。（写真二）



写真2 菌に感染した雄花

(二) マツノザイセンチュウ抵抗性マツの育種と効果的な増殖に関する研究

本課題では、マツノザイセンチュウ抵抗性マツの育種に関して検討しました。その結果、「マツノザイセンチュウ接種苗の生産コストを下げると」マツノザイセンチュウの接種方法の「開発」について、普及に移しうる成果として報告されました。

① マツノザイセンチュウ接種苗の生産コストを下げるさし木技術の開発

マツノザイセンチュウを接種した抵抗性苗は、未接種苗の数倍以上の価格になり、その低減が必要です。マツはさし木が困難とされていますが、当センターにおいてガラスハウス内やさし床を不織布で覆った施設を開発し、四月下旬にさし木処理をすることで一〇〇割の発根率が得られることがわかりました。これにより、今までの接収苗木価格を低下させることがわかりました。（写真三）

が、当センターにおいてガラスハウス内やさし床を不織布で覆った施設を開発し、四月下旬にさし木処理をすることで一〇〇割の発根率が得られることがわかりました。これにより、今までの接収苗木価格を低下させることがわかりました。（写真三）

② 効率的なマツノザイセンチュウの接種方法の開発

従来九州では、苗畑でマツノザイセンチュウを苗木に接種して生き残った苗木を供給する方法が行われてきました。

当センターでは、より強力なマツノザイセンチュウを用いて、屋外で効率的に苗木にマツノザイセンチュウを接種する方法を検討しました。

その結果、屋外において二〇〜三〇％の生存率が得られました。これにより、ビニールハウス等の施設がなくても枯れないマツを供給することができるようになりました。

(三) 圧縮処理等を活用した県産材の性能向上技術の開発

本課題では、できるかぎり環境負荷を軽減し、かつ簡便な処理によってスギ材の性能向上を図る方法について検討しました。

その結果、「圧縮加工スギ材の性能評価と利用開発」について、普及に移しうる成果として報告されました。

今回は熱ロール圧密加工技術を応用し、スギ材の性能評価と利用方法について検討しました。熱ロール圧密加工では、材表面部の硬化、木目の強調、光沢の増加、熱による着色、

表面の平滑性を向上させることができました。

また、熱ロール加工とUVウレタン塗装を併用することにより、スギ材は寸法変化が小さく、床暖房用フローリングとして利用できることがわかりました。これにより、スギ材が付加価値の高い内装材として使用できることが明らかになり、用途の拡大を図ることができます。（写真四）

平成二三年度新規課題

平成二三年度からの新たな取り組み二課題は次のとおりです。

(一) スギ雄性不稔個体の選抜と効率的な挿し木増殖手法の検討

スギ花粉症は社会的な問題となっており、林業面からの対策も求められています。本課題では、多数のスギ雄性不稔個体から、林業用種苗として適した個体を選抜すると共に、それらの挿し木苗を効率的に生産する手法を検討します。

スギ雄性不稔個体の挿し木クローンを養成し、初期成長や幹の形質、発根率等を計測することで、良好なクローンを選抜します。また、小型挿し穂による挿し木苗の育成や採穂

台木の仕立て方等効率的な増殖方法についても検討します。

(二) マツノザイセンチュウ抵抗性種子の品質向上技術の開発

抵抗性マツ苗は、海岸防災林や松食い虫被害跡地造林等での需要があり、本県の気象特性に適し高い抵抗性を有した苗木の安定供給体制が求められています。本課題では、採種園構成クローンの着花特性を把握し、抵抗性種子の品質向上技術を開発し抵抗性種子の安定生産・供給技術を確立します。採種園においては、植栽したクローンの開花特性、生産種子量等の交配実態および種子の抵抗性を評価し、品質向上技術を開発します。

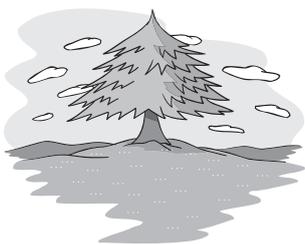
なお、試験研究成果については、林業研究センター研究報告・業務報告のほか、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



写真3 育成施設内の状況



写真4 床材の施工例





素材の価格〈工場着価格〉(2月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	9 (8~10)	0	9 (9~9)	0	8 (7~10)	0	8 (7~10)	0
		10~13		並	スギ	13 (12~14)	0	9 (8~9)	0	10 (8~12)	0	11 (8~14)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	15 (14~17)	0	11 (11~12)	0	13 (12~14)	0	13 (11~17)	0
				並	ヒノキ	24 (23~25)	0	(0~0)	-	18 (17~18)	0	21 (17~25)	0
		6.00	並	スギ	20 (17~23)	0	18 (18~18)	0	17 (16~17)	0	18 (16~23)	0	
			並	ヒノキ	24 (24~24)	0	(0~0)	-	23 (22~26)	△1	23 (22~26)	△1	
	20~28	3.65	並	スギ	14 (13~14)	△1	12 (11~12)	0	13 (13~14)	△1	13 (11~14)	△1	
		4.00	並	アカマツ	11 (9~13)	0	10 (10~10)	0	11 (10~12)	0	11 (9~13)	0	
		1.80	並		8 (6~10)	0	(0~0)	-	8 (7~9)	0	8 (6~10)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	23 (23~23)	0	(0~0)	0	24 (24~25)	0	24 (23~25)	0
並				米マツ	25 (23~28)	0	26 (26~26)	0	25 (25~25)	0	25 (23~28)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	-	(0~0)	-	24 (22~25)	1	24 (22~25)	1	
			並	ベニマツ	27 (27~27)	0	22 (22~22)	0	23 (23~23)	1	24 (22~27)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
			並	アガチス	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	-	(0~0)	-	6 (6~6)	0	6 (6~6)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	-	(0~0)	-	6 (6~6)	0	6 (6~6)	0	

一月の原木市場への入荷状況は、前月比二〇割増(前年比二割増)の二八、三三四立法材となっている。
販売量については、前月比で一八割増(前年比一三割増)の二八、三〇四立法材となっている。
降雪の影響により一部市場で入荷量の減少が見られるが、売れ行きは概ね良好である。
二月の価格については、保合である。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	8 (7~8)	0	9 (8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	7 (7~8)	0	8 (7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	9 (8~10)	0	11 (10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均価格を示す。
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。



昭和十一年生まれが踏ん張っている。東日本大震災で震度6弱を記録した郡山市の県郡山合同庁舎だ。位置する地

だ。その一部を引用させていただきます。

このような中、大きな揺れに耐え、踏ん張っている郡山合同庁舎(本庁舎)が、四月一四日付け「福島民報」の論説「あぶくま抄」で紹介されたので、その一部を引用させていただきます。

この度の東日本大震災で被災された方々、また、福島第一原子力発電所の事故で被害に遭われている方々に、心よりお見舞い申し上げます。郡山市でもすさまじい揺れを記録し、市内には赤紙「危険」や黄紙「要注意」が張られた建物が点在します。合同庁舎の北分庁舎では柱が砕け使用できなくなりました。

盤にも助けられたのか、ガラス窓が破損した程度の被害で済んだ。玄関には使用可能を示す緑色の応急危険度判定結果の紙が貼ってある。



白亜の殿堂 郡山合同庁舎

県中農林事務所森林林業部 丹治 俊 宏
林業課長

昭和五(一九三〇)年完成の合同庁舎は元の市役所だった。市制施行を前に庁舎建築が決まり、建設中に関東大震災による金融恐慌が襲った。工事は中断を余儀なくされる。市は直営工事に切り替えて三年がかりで完成した。「白亜の殿堂」と呼ばれ、市の象徴となった。

関東と東日本の二度の「震災」を乗り越えた庁舎では県中地方災害対策本部会議が連日、夜遅くまで開かれる。築八〇年が過ぎても災害復旧のシンボルとして輝く庁舎は市民や避難所生活を送る人に「私たちも、もうひと踏ん張りしよう」と希望を与えてくれる。

県内の農林水産業は、生産施設の被災や出荷制限などの直接的被害に加え、風評被害により極めて厳しい状況にあります。どうか皆さん、私たちも、もうひと踏ん張りしましょう。」がんばろう ふくしま!

みどりの少年団コーナー
No.181



「がんばれ日本、 そして、 がんばろう福島」

この度の「東日本大震災」により被害を受けられました皆さまに、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

緑の少年団の皆さんも、避難地での厳しい生活を送られている人、遠くに避難している人など、団員もバラバラになって、寂しい思いをしている人も少なくないと思われまます。

そんな中であっても、少年団の皆さんの笑顔、弾んだ明るい声が周りの人達に、元氣や勇氣を与えてくれます。

さびしい、厳しい日々の暮らしの中にあっても、うれしいこと、楽しいこと、新しい感動を見つづけることなどに、努めてみてください。きっと皆さん自身も元氣になれると思います。

県大会中止でも、 活発な団活動を！

今年は、残念ながら「活動実績発表大会」、「福島県緑の少年団大会」を、この大震災のため、時期的に開催が困難なこと、浜通りを中心に被害が大きく、大会に参加が難しいことなどの理由から、中止せざるを得なくなりました。

役場などの行政支援も得にくくなり、育成会の支援や協力も例年以上に厳しいものになってしまいかも知れませんが、少年団の皆さんにはできる範囲で、少年団活動にがんばって欲しいと願っております。

また、被災して転入してきた児童達にも、団加入か否かを問わず、団活動に参加を求めると、新しい土地や人々に少しでも早くとけ込めるよう配慮をお願いしたいと思います。

少年団員個々の 活動の促進を！

地域によっては、少年団としての活動が困難なところが出てくるかも知れませんが、緑の少年団活動の精神を受け継ぎ、団員一人ひとりが、友達を誘って、自ら学び、実践し、地域の環境清掃や花壇の手入れ等の参加するボランティア活動などに取り組みたいものです。

地域や家の都合で新しい学校に転

入した場合でも、その地域の少年団への加入や地域の人達の活動などに積極的に参加し、地域の人達とけ込めるよう、先生方や大人達のご指導などをお願いしたいと思います。

「少年よ、野に出よう！」

緑の少年団の活動では、森林や屋外での体験や自然観察等の野外学習活動、身近な川や公園での清掃などの奉仕活動、植樹や樹木の手入れなどの森林愛護活動が大きな柱となっております。

今年は、災害復旧の願いも込めて、地域の各種団体や森林ボランティア団体等が、多様なイベントを企画すると思えます。それらのイベント等にも団あるいは個人としても仲間を誘いながら積極的に参加しましょう。

これからは気温も高くなり、爽やかな野外での活動の絶好の季節となります。野外に飛び出し、楽しく、元氣に活動しましょう！

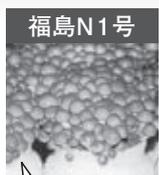
そして、彼らを側面から支え、自主的な取り組みを促して行きたいものです。



元氣に活動しましょう！

きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)

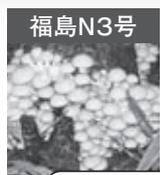


安定多収量



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富



○その他各種種菌

- 菌床
 - ・シイタケ
 - ・ハタケシメジ
 - ・ムラサキシメジ等

- マイタケホダ木
- 栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org

森連だより

双葉地方森林組合が 事務再開



田村森林組合に事務所の看板設置

東日本大震災において被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。東日本大震災から一カ月を迎えた四月一日、東京電力福島第一原子力発電所事故で避難を余儀なくされていた双葉地方森林組合が、田村市



の田村森林組合（代表理事組合長 早川英二）の二階会議室に事務所を設置し、業務を再開しました。双葉地方森林組合秋元公夫代表理事組合長より再開までの経緯をお知らせします。

三月一日午後二時四六分、東日本大震災発生、約三〇分後に大津波が押し寄せ、福島県内では浜通りを中心に大きな被害を受けました。こうした地震、津波に追打ちをかけたのが東京電力福島第一原子力発電所で発生した事故で、一号機、三号機で立続けに水素爆発が発生し、政府は、第一原発から半径二〇キロ圏内の住民に避難指示、二〇キロ～三〇キロ圏内の住民に屋内避難指示を出しました。私は一四日夜、家族全員で新潟県に避難しました。それは燃料が無く厳しい避難でした。

テレビに映る画面は毎日が原発ばかり、半径二〇キロ圏内は双葉郡の八〇割、三〇キロ圏内には一〇〇割が入り、このままではいつ事務所に戻れるか、自分達の仕事は、それより組合が終るか、そんなことばかり考える毎日でした。

放射線の放出が続けば、浜通りだけでなく県内全域、さらには首都圏を含む東日本が汚染され、住めなくなる、一番先に頭に浮かんだのは旧ソ連のチェルノブイリ原発でした。山に入つての作業も、決算や賃金の支払いなどの事務処理も震災で中断してしまいました。しかし事務処理に専念することが今私たちに課せられた使命であると考えようになりました。

組合員や職員のために早く仕事を再開しなくては、そのためには職員を早く呼び戻したい、と県外に居る職員に電話し、県森林組合連合会専務、参事の協力の上、福島市に集合することが出来ました。説明を行い四月一日より田村森林組合に事務所を再開いたしました。

現在職員は全員アパートを借り、事務を行っています。家族を県外に残し単身で生活している職員もいます。双葉郡の林業推進と組合員の生活再建に向け、苦しい中でも助け合

いながら希望を持って業務を継続していきたいと思っております。双葉郡内の雇用はますます厳しくなりませんが、事務所を開設したことにより、林業という光を消さずにすぐ事業を再開出来る準備はしたい、そう思っております。

今後とも全国森林組合連合会、そして県森林組合連合会にはご指導をよろしくお願いいたします。

また、今回事務所を快く提供して下さいました田村森林組合の温かいお言葉に心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

「目に見えない放射能との闘いの始まり」

「働く場所を設けることは精神的な安定にもつながる」

双葉地方森林組合

代表理事組合長 秋元 公夫

連絡先…

住所 千九六三―四六〇三

田村市常葉町西向字堂ヶ入六

二一七

電話

〇九〇―四五五六―三〇八四

福島水源林整備事務所だより

福島水源林整備事務所の 平成23年度事業予算

(独)森林総合研究所森林農地整備センター
福島水源林整備事務所

福島水源林整備事務所が実施している水源林造成事業の平成二三年度当初事業予算は、対前年度比率が五二割と非常に厳しい内容となっております。

また、震災復興予算に充てるため、当初予算の五割を保留する方針が示されたので、その厳しさはより一層深刻なものになっています。

しかしながら、幸い昨年度の大規模補正予算の繰越が相当額あるため、補正予算を含めた年度当初の事業予算総額としては、前年度の二倍以上の予算規模を確保できました。

このように今年度の予算は、昨年度の補正予算が大部分を占めることから、事業の内容は除間伐や路網整備に重点をおいて実施する予定にしています。

この様な予定で事業はスタートいたしました。震災や原発事故の關係で、浜通り地方は今年度の事業実施が難しくなる場合も考えられますので、その様な場合は中通り地方や会津地方に事業がシフトすることが起り得ます。この点を踏まえて、造林者や関係機関の方々には特段のご配慮をお願いいたします。

次に事業の内容について少しご説明します。ご承知のように水源林造成事業の財源の一部は、借入金で賄われております。その借入金の償還財源は、分収造林契約による将来の造林木販売収入を充てることとしています。

しかし、造林木販売収入の基礎となる立木価格は近年下落傾向が続いており、将来の借入金償還財源の不

足が懸念されることから、事業の収支バランスを保つため、事業費の財源を徐々に借入金から補助金に切り替えています。

また、事業実施に当たっては、森林業のコスト削減に向けた取り組みを行っております。

具体的な取り組みとしては、新植を行う際に前生樹や後生樹を活用した広葉樹区域を三割程度設けることにより針広混交林を造成することとし、植栽区域についても尙当たりの植栽本数を従来の三、〇〇〇本から二、七〇〇本に削減しています。

保育施設では下刈における筋刈や坪刈りの実施、枝打については尙当たりの実施本数の削減、作業道については丸太組の現地資材の活用や再生砂利の利用促進等となっております。

また、今年度事業においては、震災後の対応として次に掲げる取り組みを考えています。

① 津波や原発事故により、他の市町村等へ避難をされている方々に、水源林造成事業地を働く場として提供できないか検討する。

② 震災により被害を受けた山林災害箇所の中で可能な森林について、

水源林造成事業を活用した森林の再生を図る。

③ 避難者の仮設住宅等の建設に使用するため、主伐の前倒し実施等により木材供給を促進する。

続いて林道事業についてですが、喜多方市山都で実施しております「山都区間」について地権者のご理解とご協力がいただけましたので、今年度保全工事を全て完了させる予定としております。

また、柳津町の「新鶴・柳津区間」については、災害復旧の対策工法が決定いたしましたので、同じく今年度保全工事を全て完了させる予定としております。

以上により、平成二三年度の工事もって、林道事業は全て終了する予定としております。

最後に事務所に関するお知らせですが、福島水源林整備事務所は職員数の減少及び事務経費の削減のため、六月には現在のユニックスビルの六階から三階に事務所を縮小して移転することになりました。なお、電話番号等の変更はありません。今後ともよろしくお願いいたします。

表紙の写真



復旧に励む

南相馬市小高区村上上地区にて復旧作業にあたる相馬地方森林組合のグラップル付バックホウ。



蘇らそう！
美しいふくしま・豊かな東北

放射線から逃れ、部屋に閉じこもっていたら四季の変化に疎くなっていった。勇気を奮って帽子とマスクなどで完全武装？をして庭に出てみるとヤシオツツジが満開で、根元に咲いたカタクリから元気ですかと声をかけられた。傍らのオウレンやヒトリシズカ、シユンランなども今を盛りと咲き競い、鉢植えのサクラも艶やかな花をつけ出迎えてくれた。自然界は人間社会の影響を受けず、四季は時計の秒針のように刻々と移り変わりを見せていた。

ところで、一〇年程前の冬に、大雪で無残に折れたサクラの小枝を同僚が抱えてきた。彼の悲しそうな顔を見て何とかしたいと考え、冷暗所に枝を貯蔵し、地温を見ながら川砂や鹿沼土桐生砂などに挿し木し、温室で管理したところ約一割が発根した。私は約二割程度の発根率を期待していたのだが、寒風と乾燥などにより発根率が低くなったと分析している。その一本を観察用に鉢植えにしておいたところ、一年前から花が咲いた。心を込めれば助かる命もあると思い、震災復興にも真心をもってあたりたいたいと思っている。

恐怖に怯えた大震災から一カ月が過ぎた。未曾有の地震で壊れた扉などは片付けが進んでいるが、屋根は資材の入手難からブルーシートに覆われたまま哀れな姿を晒している。

岩手、宮城では復興が始まったが、本県では原発事故も重なり復興への道程は厳しく、牛乳や野菜などの出荷制限や、葉タバコ、稲作の作付け制限など深刻な問題を抱えている。先の見えない原発問題への対応で知事をはじめ関係者が激務を強いられている。今回、震災復興会議委員に就任された知事には二〇〇万県民の声を発信して欲しいと願っている。県民は原発問題に対する東京電力や政府の遅い対応に不信感を募らせ、放射線に怯える県民をよそに、政争に明け暮れる旧体質の政治家達は復興の妨げになるのでは、と危惧している。

日本発の原発事故は全世界に不安を与え、一刻も早い再建が待たれる時期に国民不在の権力争いを中止し、復興のため全力投球を促したい。首相には原発問題の早期収束と一刻も早い復興のため存分にリーダーシップを発揮して欲しいと願っている。

佐藤微風

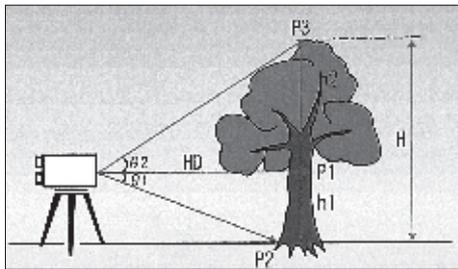
編集

福島県内四森林管理署
福島県林業協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県緑化推進委員会
福島県農林種苗農業協同組合
福島県林業協会
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県中町五番一八号県林業会館内
発行人 陽光社印刷株式会社
発行 渡辺卓
治

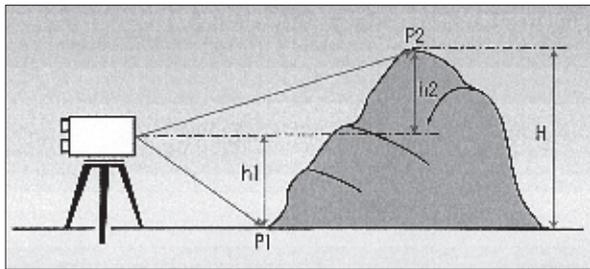
(定価 六三円)

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

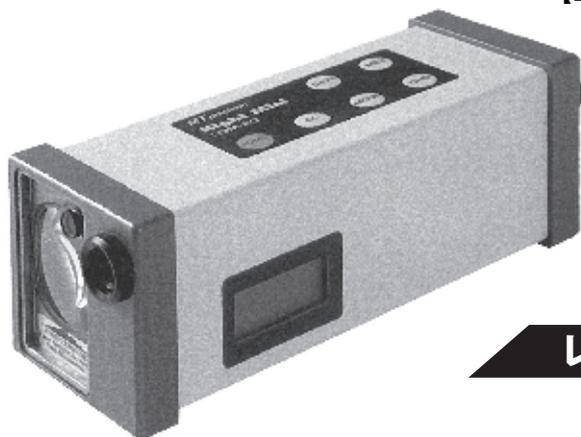


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

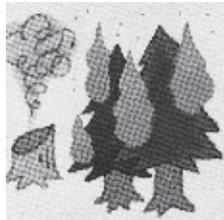
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



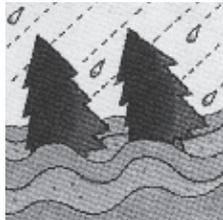
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



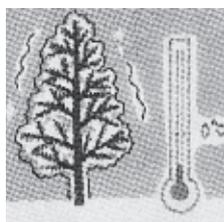
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林整備課
TEL 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングャーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



豊かな緑を次代へ

自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。

皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生動物から大切な植栽木を守る

ツリーセーブ
ヤシマレント

盗みされ防止

ハチノックL (網隠し)
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る
ヤシマの林業薬剤**

ヤシマスマイバイン乳剤
ヤシマスマイバインMC
グリーンガードエイト
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートSC
マツグリーン液剤2

くん蒸用生分解性シート

ちゆらシート (茶・白)
NCSシート (透明)
与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリアバック使用)



ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F
東北営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-10-3-202

TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

排気量 **18.3cm³**
世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



G2000T EZ-START

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm³**
さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



G4211EZ EZ-START

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを追求したハンドルと
思いのアクセルワークが可能なトリガーレバー。



BC2711DW1-EZ

・防振ハンドルブラケット
・トリガーレバータイプ
チップソー ¥79,380(税込)
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1